

平成17年度パートナーシップ事業助成制度 審査結果一覧

No.	事業名称	助成の可否	助成額(千円)	評価(30点満点)	審査員コメント
1	相模川左岸堤防芝ざくら植栽事業	可	300	25.2	すでに効果が実証されている事業で、相模川の美観を高め、多くの住民の参加が見込まれ、地域が活性化すると考えます。
2	清新地区 地域通貨事業	可	244	15.4	地域の連携を強化して、福祉の充実へつなげる努力をしてください。長期的な見通しに立った地域通貨の信頼性・運営体制の確立を目指してください。
3	障害者の自立支援プロジェクト	可	300	23.8	ミッションが明確であり、きめ細かな支援を進めて先例事業・ビジネスモデルとなることを期待します。自立支援の最終目標といえる就労先へのマッチングも検討してください。
4	さがみはら市民ファンドの創設・助成実施	可	300	21.6	市民が主体となって、市民の寄附でファンドを設立するという点を評価します。資金の運用も含めた事業の運営体制の確立が必要と思われます。
5	ニート・フリーター対策事業「自分発見プログラム」の開発と実施	可	297	22.0	緊急性が高い社会問題であり、意義のある事業と考えます。事業者や学校と連携し、ワークショップ以外のプログラムとの連動も工夫して、インターンシップの実施や参加者の掘り起こしを行うことを期待します。
6	プレフェスティバル！ by kids & youths	可	288	15.4	フェスティバルをつくる過程を人材育成の場とし、開館後の子どもセンターにおいて、子どもが中心となった活動が継続されるよう工夫してください。PTAや保育園との連携など、理解と参加の輪を広げ、事業を効果的に運営していくことを期待します。
7	「フリフリグッパ」	否	0	13.8	高齢者の健康づくりを目指した同様の取り組みがある中で、フリフリグッパ体操の独自の効果を見出すことができませんでした。連携団体の具体的な役割分担の提示が必要だったと考えます。
8	相模原市民カラオケ大会 &講演と交流会	否	0	7.2	パートナーシップ事業としての意義と効果を十分に見出すことができませんでした。イベントを実施した後、地域社会へどのような効果があるのか具体的に提示することが必要と考えます。
9	第3回 淵野辺ボンバイエ！	可	270	17.6	大学が地域との連携を求める事業としては先進性があり、大学のさらなる参加を期待します。事業の継続性を確実にするために、さらに工夫して下さい。

合格基準点に達している同点下位2団体については、予算残額の範囲で按分しました。

交付率は、5団体支給後の予算残額/2団体の要望額計=533,000/554,000=96%とし、

No.2. 清新地区地域通貨事業：254,000×96%=244,000

No.6. プレフェスティバル：300,000×96%=288,000 が助成額です。